

対談

地域で
頑張る皆さん

「元気で長く住み続けることができる、
魅力的な地域であり続けるよう頑張っ
てください」と知事

「社会福祉法人鞍手町社会
福祉協議会」会長の由衛久子
さん。「子どもたちが心豊かに
育ってほしい」との願いから、
読書を通じたボランティア活
動にも力を入れている



特産品の巨峰を生産する「JA
直鞍ぶどう部会鞍手支部」
副支部長の岡松寿紀さん。
ぶどう祭りの開催や巨峰アイ
スクリームの販売など認知度
向上・販路拡大に取り組む



「鞍手町商工会青年部」部
長の楠田和延さん(写真上)
と相談役の石井大輔さん。
2年に一度開催される「くら
て星空シアター」など、商工
会の活動を通じて町を盛り
上げている。昨年の熊本地
震の時には現地ボランティ
アに参加



「idea愛ランド」代表の栗田恵
さん。自身の子育て体験をき
っかけに赤ちゃんの生活リ
ズムを記録するカレンダーな
どのアイデアグッズを考案。
制作販売まで手掛けている



「鞍手町シティブロモーション」
公認サポーターの播野巧磨
さん(写真上)と景子さん夫
妻。平成27年、県の「トライ
アルワーキングステイ」に参
加し、鞍手町でのお試し居住
を体験。海外や都会の価値観
とは異なる魅力を見出し同
町に移住。地域の交流活動
や移住体験プログラムの
企画・運営に携わっている



鞍手町商工会青年部

団体
紹介



昭和37年に設立され、現在のメンバーは24歳から45
歳までの23人。閉店した地元の「きらく食堂」のオリジ
ナルソースの味を復活させた「復刻きらくソース」は町の
新しい名物に

株式会社野上養鶏場



昭和30年の創業以来、新鮮でおいしく、安全な卵を全国に
届けている。卵は町の農産物ブランド「鞍手う希」に認定され、
町内外から高い評価を受けている



卵かけご飯、スイーツなどを試食。
「卵自体が甘くておいしい」と知事



カフェで販売している卵たっぷりの「生
ぶりん」と「シュークリーム」が人気

くらて学園



平成27年に廃校となった中学校を架
空の学校「くらて学園」として開放し、
サブカルチャーのイベント会場や撮
影スタジオとして再活用。毎月開催
の撮影イベントは毎回200人以上が参
加するほどの人気ぶり



スタジオで撮影した写真を
編集



学園では立体物を造形できる
3Dプリンタの活用など最先端
のモノづくりが行われている

鞍手町総合福祉センター「くらの郷」

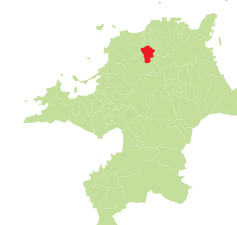


乳幼児の4カ月健診と併せて実施されている「ブック
スタート事業」は、絵本を通しての触れ合いが
目的。知事も飛び入りで読み聞かせを楽しんだ

乳幼児健診に参加した親子と「ブック
スタート事業」を支えるボランティ
ア団体の皆さんと懇談



小川知事が県民の皆さんと
直接触れ合う
「知事のふるさと訪問」。
移住定住施策や漫画・アニメを
活用した事業などに取り組み
む
鞍手町を訪れました。



くら
て
まち
鞍手町

平成29年5月18日

鞍手町立鞍手中学校



体育会の練習に励む生徒の皆さんは「より良い学校にしたい」「伝統に残
る大会に!」「たくさんの人に和太鼓演奏を届けたい」と、意欲的に語った



和太鼓部がパワフル
な演奏で熱烈歓迎!
文化祭や地域イベン
トでも演奏し、喜ば
れている



平成27年に2つの中学の統合により誕生した、生徒数400人を超える大
規模中学校。専門学校跡地の校舎を活用しており、充実した環境が魅力

株式会社プレジール

平成26年に鞍手町に進出し、トイレカーなど特殊車両を企
画製作販売。従来の仮設トイレより簡単に設置・利用でき、
レンタルにも対応。お祭り会場、野外ライブなどのイベン
トや工事現場、災害現場などでも利用され、昨年の熊本地震
では避難所の衛生環境を守るために貢献した



製作中のトイレカーの機能・
活用事例の説明を受けた

